



2021年1月

## 2021年アジア連帯委員会（CSA）年頭のご挨拶

あけましておめでとうございます。皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

アジア連帯委員会（以下CSAと略す）の活動は、連合、会員組織および個人会員の皆様からの物心両面の支えによって継続できています。本年も変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。

CSAは、1981年4月16日に「インドシナ難民共済委員会」として発足し、その後活動内容の変化に伴い3度名称変更して現在に至り今年で結成40年を迎えることになりました。今日までの長きにわたるご支援ご協力に改めて心から感謝申し上げます。

さて、2019年末に中国武漢で発生した新型コロナウイルスは、急速に感染を拡大し昨年4月には世界的パンデミックに至り、多くの国で外出禁止、海外渡航禁止の処置がとられました。日本においても4月に緊急事態宣言が出され、外出自粛措置が5月後半まで続きました。そして、この間一時的に収まった感染状況でしたが、その後、第2波、第3波と感染拡大時期を迎え多くの国で外出規制が取られるなど終息が見えない状況が続いています。

CSAとしても、海外渡航が規制され中古衣料の送付など難しい状況が続いていることを受け、活動内容を大幅に見直さざるを得ない状況となり、支援組織の皆様と相談しながら対応してきました。

ここにきてワクチン開発が進み一部の国で接種も認可されるなど希望の光も見えてきています。CSAは、今後の状況を見極め昨年9月の第40回定期総会で決定した活動方針に沿って活動を進めていきます。

以下に、CSAとして重点的に取り組んでいる「救援衣類を送る運動」「ラオス初等教育の改善」「ラオス高等教育の改善」についての経過と今後の方針について触れますのでご理解とご協力をお願いします。



会長 澤田和男



CSA 鈴木事務局長（中央左）から  
ラオス保健省官房長（中央右）

### 1. 救援衣料を送る運動

1981年から取り組んでいるこの運動では、毎年集約された善意の救援衣料を、タイ・ラオス両国の要請に基づき必要とする人々に配布し、関係者から感謝されています。

課題は、輸送費が増大し2年連続で予算に収まらなかったことです。今後については、輸送募金とのバランスを図ることや、輸送ルートの改善などによって出費削減を目指し活動を継続していきます。

## 2. ラオス初等教育の改善（小学校建設・補修活動）

1995年の第1校目建設からこれまでに小・中学校24校を建設し寄贈してきました。また、古くなった校舎を父兄の労務提供も求めながら計画的に補修しています。

新たな校舎建設・寄贈は、2015年以降できていませんが、現地から要請があった学校での補修工事は継続して実施しています。今後も必要な補修を行う一方、新たな校舎建設・寄贈に向けた検討に着手していきます。

## 3. ラオス高等教育の改善（サンティパープ高校生寮支援）

2002年に高校生寮を建設・寄贈するとともに、そこでの生活と学業を支援することにより、貧困などの事情によって進学が困難な生徒が高等教育を受けられることを可能にしています。

現在の寮生は90名、これまでの卒業生は480名に達し、総じて優秀な成績で日本への留学も果たすなど国を支えるリーダーとして成長しています。

このように私たちの活動は、そこに住み、そこで学んでいる人達にとっては無くてはならないものとなっています。より多くの皆さんに、この活動の内容を知っていただき、ご協力をいただけるよう努力していきますので、本年も従来に増したご支援をよろしくお願い致します。最後に、2021年が皆様にとって良き一年となることを切望し、年頭の挨拶とさせていただきます。

アジア連帯委員会（CSA）会長 澤田 和男

# 昨年の振り返りと今年の事業に向けて

## 1. 第37次救援衣類を送る運動

＜2021年10月の実施を目指して＞

### (1) 実施要項の決定

2020年3月26日に開催した、第39回常任理事会、第19回評議委員会で「第37次救援衣類を送る運動」の実施内容を決定しました。

### (2) 具体的な実施内容

- ① 貧困や自然災害などに苦しんでいるアジアの人々に救援衣類を送る運動を、外務省後援と連合協賛を得て取り組みます。
- ② 今年度の対象国はタイ、ラオスとします。

③ 支援団体や支援者に対して「衣類提供箱数と輸送費の一体化」を明確にし「提供衣類箱数は輸送費（1箱1,000円～）の範囲内」として支援要請します。また、衣類の提供が無くても、運動の趣旨に賛同する支援団体や支援者に「タイ・ラオス救援衣類輸送費募金」のみの協力を要請します。

（参考）1箱の輸送費昨年実績は1,426円でした。

### (3) 第37次救援衣類を送る運動の名称

「第37回タイ・ラオスへの救援衣類とその輸送費支援」



CSAからの救援衣類を手に喜ぶラオスの人々



タイ救援衣類引き渡し式（2020年1月）

(4)新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による対応について

4月初旬からの、新型コロナウイルスの急激且つ世界的な蔓延を受けて、連合や支援組織と対応について相談の上、集荷時期を  
\*2021年10月4日～8日実施予定としました。

(5)今後の予定

2020年12月、タイ社会開発福祉省、並びにラオス保健省からCSAに救援衣類の要請公式文書が届きました。この支援要請に応えるべく、第37次救援衣類の集荷日2021年10月4日～8日の実施に向けて準備を進めています。集荷日程の確定等については、新型コロナウイルスの状況を踏まえ、2021年3月25日開催の常任理事会、評議員会にて決定します。

## 2. ラオス小学校建設・補修活動

(1)2020年CSA寄贈小学校訪問

①ナラオ村小学校(11番目校)

1月27日、ナラオ村小学校を訪問し、教師と意見交換するとともに、折紙や綱引きをして、生徒たちと交流しました。

CSA訪問団の歓迎式でブンサイ校長は「ナラオ小学校に来てくれ感謝申し上げる。全校生徒は801人になった。子供の数からすれば、校舎は足りないが、CSAに感謝している」と挨拶し、CSAへ感謝状が山根木副会長に渡されました。さらに、衣類の贈呈式が行われ、その後、団員と生徒たちは、教室で折紙、校庭に出て綱引きを行う等交流しました。その後、校長の案内で校舎の状況確認を行いその際、校長先生か



CSA寄贈のナラオ村小学校校舎(2020年1月)

ら「自分達で作った就学前児童教室の古い建物が老朽化しているので、建物の改修について支援してほしい」との要請を受けました。この要請については、持ち帰り検討する事としました。



新設要請を受けた現在の手作り校舎

②クッサンバット村小学校(1番目校)

1月27日、クッサンバット村小学校を訪問し、村長や教師と意見交換するとともに校舎の状況について確認しました。その後、校庭で救援衣類の寄贈式が催され、訪問団が持参した新聞紙で作った兜を頭に被せ、紙飛行機を作って校庭で飛ばすなど、訪問団と生徒たちは言葉の壁を越えた交流をすることができました。

さらに校長先生から「校舎は2012年に補修していただいたが、教室の壁・ドアの塗装修理が必要です。外壁塗装の支援をしてほしい」と要請を受け、帰国後回答する旨伝えました。

③ラオス教育省との意見交換

1月28日、ラオス教育スポーツ省総合教育局にシソウク局長を訪ね、意見交換を行いました。局長は「ラオスの義務教育は中学校迄となっているが、農業の手伝い等で退学する生徒もいる。学校の補修は村人達ですることになっているが、



ラオス教育省公式訪問後、教育局長を囲んで2020メンバー

CSAの事業は大変有難く感謝している。そして、現在も山間部の村には学校が無く、義務教育ながら無就学の子供達が多く存在しており、CSAによる新たな小学校建設を期待している」と述べました。

## (2) 補修等の取り組み

### ① シェンレーナ村小学校（14番目校）の井戸再設置工事

シェンレーナ村小学校の井戸再設置工事は、2019年6月にJP労組東京の支援を受けて、現地CSAコーディネーターを通じて開始し、長雨や新型コロナウイルスの影響で、工期が長期になりましたが、2020年6月に完了しました。

### ② クッサンバット村小学校（1番目校）の校舎外装塗装

クッサンバット村小学校の壁塗り支援は、2020WS Tで1月末に訪問した際、校長より要請を受けていました。4月20日、壁塗りのための材料提供を現地コーディネーターと連携し実施しました。今回の外装塗装支援は、塗料、修理材料をCSAが寄贈し、塗装は先生、生徒の父兄たちの手により完了することができました。



クッサンバット村小学校にて生徒たちと交流

## 3. ラオス・サンティパープ高校生寮の支援

### (1) 2020年ワーキング・スタディ・ツアー（WS T）において高校生寮を訪問

#### ① ルアンプラバン県教育局との意見交換

1月30日、高校の訪問前にルアンプラバン県教育局を訪ね、説明を受けるとともに意見交換しました。鈴木事務局長から寮の契約更新に関する

件について改めて詳細を確認することとし、2021年5月に契約更新の手続きを行うことを確認しました。

#### ② 高校生寮を訪問、交流と視察

1月30日、WS T訪問団は高校生寮を訪問し、寮官から「4月に全国試験があるので、寮生は頑張っている。今年は寮生の一人が絵画コンクールで優勝した」と報告を受け、さらにその優勝者が描いたサンティパープ高校生寮の全体像がCSAに贈呈されました。次に校長から「寮生が熱心に勉強できるのはCSAのお陰。今後も寮生がしっかり勉強できるように環境を整えていきたい」との謝辞を受けました。最後に、寮の台所や部屋等の視察を行い、きれいに使用されていることを確認しました。



サンティパープ高校生寮から寮を描いた絵画を受け取る山根木副会長、中央は校長先生

### (2) 卒寮式について

CSAは、毎年5月末の卒寮式に出席し、祝辞を述べるとともに卒寮生に記念品を授与し、成績優秀者にはお祝いの品を手渡しています。

しかし昨年は、新型コロナウイルスによる出入国禁止となり、出席が不可能となってしまいました。この為、本年は以下の代替対応を行いました。

5月11日、高校生寮へ卒寮式の祝辞、卒寮生への記念品30人分と成績優秀者への祝い品8人分を送付しました。

5月23日、高校生寮から「記念品等は無事届き、卒寮式で祝辞披露、記念品授与した。コロナの影響で全国試験は中止となったので、ルアンプラバン県試験の成績優秀者8名に祝い品を授与した」との報告を受けました。

(3)新型コロナウイルス対策の支援要請に応じマスク・体温計等を寄贈

6月17日、高校生寮から新型コロナウイルスの予防用マスクと体温計の支援要請文書が届き、CSAは以下の支援を行いました。

- ①在ラオス日本国大使館とラオス国内の直近の状況と対応の情報交換。
- ②現地情報と大使館のアドバイスを踏まえ、CSAの現地協力者（高校生寮1期卒業生）と連携し、マスクと体温計を現地・ビエンチャンで調達の上、要請から時間を空けずに高校生寮に届けることができました。



2020年6月CSAが送ったマスクを手にして喜ぶ寮生たち

#### 4. 2020年ワーキング・スタディ・ツアーの実施

(1)期間：2020年1月25日（土）～2月1日（土）

(2)事業視察・訪問先

①救援衣類を送る運動

ラオス保健省、総合教育省、ラオス衣類倉庫、在ラオス日本国大使館、タイ社会開発福祉省（衣類引渡式）、タイ衣類倉庫、在タイ日本国大使館



ナラオ村小学校の生徒たちとWSTメンバーで綱引き

②小学校建設・補修

ナラオ村小学校、クッサンバット村小学校

③ラオス・サンティパーブ高校生寮支援

ルアンプラバン県教育局、寮の視察点検、先生・寮生意見交換会



WSTメンバーとラオスの子供たちで集合写真

(3)2021ワーキング・スタディ・ツアー実施日程について

新型コロナウイルスの感染状況は、日本及び訪問予定国のタイ、ラオスとも依然厳しい状況にあり、2021年WSTの日程は、日本及び訪問予定国への出入国の状況が平常化した時点で、臨時常任理事会等を行い具体的日程・内容を確認した上で実施することとしています。

#### 5. 第40回定期総会開催

9月30日（水）、連合会館で、役員、代議員、傍聴者73名が出席し、第40回定期総会を開催しました。

今年の総会は、新型コロナウイルス感染対策に万全を期し、三密の回避や総会時間の短縮等の対策を講じた上で行いました。

総会は、和田常任理事が司会を務め、基幹労連の杉原代議員が議長に選出され、杉原議長により議事が進められました。冒頭、澤田会長がアジア連帯委員会（CSA）代表挨拶をした後、来賓としてご臨席された連合の逢見会長代行から挨拶を受けました。

その後、鈴木事務局長が2019年度事業報告及び2019年度会計報告を行い、堀監事が同監査報告を行い、承認されました。

引き続き、協議事項に入り、鈴木事務局長より、2020年度事業計画、2020年度予算を提案し決定さ

れた後、大澤常任理事が役員改選について提案し、満場の拍手で確認されました。引き続き、澤田会長が顧問の委嘱について提案し、確認されました。

最後に杉原議長が降壇挨拶、和田常任理事が閉会挨拶し、今年の総会は、短時間の開催でしたが、成功裏に終了しました。



第40回総会 逢見直人連合会長代行から祝辞を受ける



2020年度事業計画は満場一致で可決決定されました

### 役員のご紹介 (2020～2021年度)

会 長	澤 田 和 男	アジア連帯委員会
副 会 長	山根木 晴 久	連合 総合運動推進局長
事 務 局 長	鈴 木 隆	アジア連帯委員会
常 任 理 事	森 啓 記	連合 総合組織局 連帯活動局長
〃 (新任)	田 中 智 子	UAゼンセン 常任中央執行委員
〃 (新任)	榎 本 朋 子	自治労 国際局長
〃 (新任)	高 橋 英 司	電機連合 中央執行委員 国際部長
〃 (新任)	大 谷 直 子	JAM 組織グループ 副グループ長
〃 (新任)	小 西 啓 介	基幹労連 事務局次長
〃 (新任)	寺 澤 環 人	日教組 国際部長
〃 (新任)	水 野 和 人	情報労連 組織対策局長
〃 (新任)	大 澤 大 澤 健	連合東京 副事務局長
監事・会計監査	大 濱 直 之	UAゼンセン 副書記長
〃 (新任)	中 島 基 史	自動車総連 国際局局长

次の役員が退任することになりました。在任中のご厚情に心より御礼申し上げます。

#### 【退任役員】

副 会 長	山 岡 みゆき	アジア連帯委員会
常 任 理 事	和 田 水 穂	UAゼンセン
常 任 理 事	細 川 哲 孝	電機連合
常 任 理 事	塩 崎 考 江	日教組
監 事	堀 紀 子	日産労連

#### <山岡みゆき前副会長 退任挨拶>

昨年9月30日の第40回定期総会でアジア連帯委員会の副会長を退任することになりました。アジア連帯委員会に連合事務局から出向したのが、8年前でした。国際活動の経験がなかったので、最初は心配でしたが、1年間の事務局次長を経験し、5年間の事務局長の大任をなんとか無事に果たすことができました。これもひとえに連合をはじめとする支援組織の常任理事、評議員、支援者の皆様の温かいご支援とご協力のお陰と感謝申し上げます。今後も、アジア連帯委員会が時代にあった国際ボランティア組織として益々発展することを期待しています。また、常任理事、評議員、支援者の皆さまのご健勝と支援組織の益々の発展を祈念いたします。長い間、本当に有難うございました。



